



平成 26 年 1 月 29 日

各 位

上場会社名 東京エレクトロン デバイス株式会社  
代表者 代表取締役社長 栗木 康幸  
(コード番号 2760)  
問合せ先責任者 財務部長 田中 弘毅  
(電話 045-443-4000)

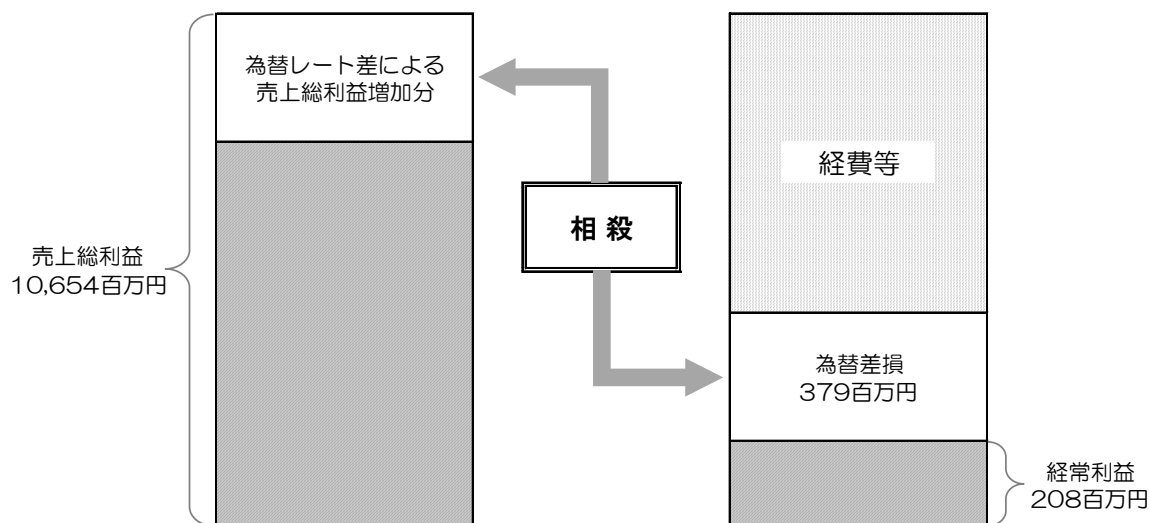
### 営業外費用（為替差損）の計上要因に関するお知らせ

平成 26 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）における営業外費用（為替差損）の計上要因につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

1. 営業外費用（為替差損）の計上理由および平成 26 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間における計上額について  
 当社の為替変動リスクに対するヘッジ方針は、債権・債務の全額につき先物為替予約を締結することで円貨ベースでの受取額や支払額を確定させることです。これにより、会計上の処理としては、予約レートと実際の売上及び仕入時点の為替レートとの差が為替差損益として発生いたしますが、同時に同額が売上総利益増減として加減算されるため、経常損益の段階ではヘッジの効果が反映されることとなります（為替差益の場合には同額の売上総利益が減少し、為替差損の場合には同額の売上総利益が増加することとなります。）。  
 平成 26 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間においては、3 億 7 千 9 百万円の為替差損を計上しておりますが、売上総利益がほぼ同額増加しており、ヘッジの効果を反映した経常利益を表示しております。
2. 業績に与える影響  
 上記の営業外費用につきましては、本日開示いたしました「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

(ご参考) 平成 26 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間における為替のヘッジのイメージ図



円安進行時 : 売上総利益が増加、為替差損が発生

以 上